



vol.188 2009年11月号

編集・発行

社団法人
日本プロテニス協会
広報・企画推進委員会

〒108-0074
東京都港区高輪3-24-16 ISAビル 3F
TEL:03(5791)1965
FAX:03(5791)1966
E-mail:kyokai@jpta.or.jp
URL:http://www.jpta.or.jp

JPTA

news



2009コンベンション 2009.10.4~5

CONTENTS

- ◆ 故中川昭一副会長を偲んで 1
- ◆ コンベンション報告 2~8
- ◆ 平成20-21年度JPTA組織図 / 各委員会委員長挨拶 / 新地区会制度について / 地区長挨拶 9~13
- ◆ 能登国際女子オープンテニス2009 開催報告 14~15
- ◆ 資質向上セミナー報告 16
- ◆ 第3回ジュニア育成プログラム実施報告 17
- ◆ NGT全国大会日程 / 地区大会結果 / 小中トーナメント地区大会結果 18~19
- ◆ 地区たより[九州地区] / 資格認定委員会 新入会員挨拶 / UPテスト合格者 20
- ◆ BSボール発注について / ミクシサイトについて 21
- ◆ 事務局たより 22
- ◆ 会員変更届け 23
- ◆ 公認推薦賛助企業 24

故 中川昭一副会長を偲んで

それは平成21年10月4日コンベンション当日の早朝の悲報でした。平成15年より6年間に渡り当協会の副会長を務めていただいた中川昭一氏が急逝されたのでした。絶句でした。単なる協会の副会長という関係だけでなく、私のテニスの教え子でもあり、友人でもあり、そしてその知識と聡明さは師でもあったからです。



故中川昭一氏とは氏が学生時代からテニスを通じて親交を深めて来ました。そして平成13年、私が協会の理事長になったのを機に副会長就任をお願いし、今日に至っていました。その間、故中川副会長は協会の周りとの太いパイプ役として協会を足元から支えて下さいました。また、協会内事業ではジュニア育成に深い関心を持ち、特にニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバンの全国大会には時間のある限り参加いただきました。

故中川副会長から生前いただいたご恩に厚く御礼申し上げますとともに、心安らかな永眠をお祈り申し上げます。

社団法人日本プロテニス協会
理事長 渡辺 功

2009年度 コンベンション開催報告

特別委員会
コンベンション部長
篠崎 浩信

東京有明にて2009年度コンベンションが開催されましたので報告させていただきます。

開催初日の朝、10月4日(日曜日)長年にわたり協会の活動に温かいご理解とご尽力を頂きました中川昭一副会長の訃報に接することとなり、氏を偲びながらの開催となりました。いままでのご功績に心から感謝し、この場を借りまして、ご冥福をお祈りさせていただきます。本当にありがとうございました。

テニスの教え子でもあり、親交も深かった渡辺功理事長の悲しみは涙を誘わずにはいられませんでしたが、「明るく楽しくやろう。それが中川氏へのはなむけになる」というお言葉のもと、滞りなくコンベンションを開催することができました。

今回の基調講演では錦織圭選手のジュニア時代のコーチ、柏井正樹会員をお招きし、ジュニア指導の講義及びオンコートセミナーを開催しました。

日頃、私も審判台の上からプロの選手の戦いを見せて頂いていますが、トップ選手の育成を目指して、いかに選手自身に考



る力、創造力をつけさせるか、練習でのフィードバックの方法、自然に身につく練習方法など、いままでも現場で積み上げてきた経験とジュニア育成にかける情熱にただ



講師にはリックスコミュニケーションズの荒井氏をお迎えし、安全管理講習会が開催されました。

敬服するばかりでした。トップを目指すジュニアだけでなく一般の方々のレッスンでも役に立つ内容に、多くの会員の方々にもご紹介できればと感じました。

安全管理講習会にも多くの方々のご参加をいただきました。安全管理の重要さも普及し、おかげさまでオフィシャルスクールへの加入も増えています。事故を未然に防ぐ大切さや、事故が実際におこってしまったときの対応など、参加者も真剣に学習していました。

今回、コンベンションにご参加頂きました皆様ありがとうございました。

また残念ながらご参加頂くことのできなかった会員の皆様、次回は、さらに多くの会員の方々に参加していただけるよう、コンベンションの内容、開催方法についても検討を重ねていきたいと思っております。来年度のコンベンションを楽しみにしててください。

最後になりますが、開催にご協力いただきました公認・推薦・賛助企業をはじめ、ご協力いただきました皆様、この場を借りましてあらためて御礼申し上げます。ありがとうございました。



関西地区長 林会員



賛助企業 (有)リックスコミュニケーションズ様



公認企業様 ご挨拶



協力施設賞 タムラクリエイト 富塚会員



セミナー講師の柏井会員



協力賞 米田会員



推薦企業 丸菱産業(株)様



個人賛助会員の 平野さん、立石さんを囲んで



特別賞 平沢会員



協力賞 荒井会員

JPTAコンベンション基調講演

「ジュニア指導の考え方」

— 錦織圭の指導環境と指導の基本姿勢 —

記録：事務局 酒井

編集：広報・企画推進委員会 副委員長 金丸 由紀

- 日時● 10月4日(日)16:00~18:00
- 会場● 東京ベイ有明ワシントンホテル(アイリス)
- 講師● 柏井正樹氏
カシワテニスサービス グリーンテニススクール



1 ジュニアの頃の圭について

特別なこと

- ・「技」ボールセンスがあり、且つゲームセンスがあった
- いつ、どこで、どんなボールを打つと相手が苦しくなり、困る、ということが良く分かっていた
- ・「心」勝負事にはこだわるタイプだった
- ・「知」俯瞰の能力があった。コーチのリクエストに直ぐに応えることができた。
- 自分のプレーを客観的に分析できる感覚があった

普通のこと

- ・「体」身体の大きさや、基礎運動能力は秀でていた訳ではない。(コーチのリクエストに直ぐに応えることができた)
- 中学校2,3でアメリカに行ってから帰国し会う度に胸・肩・ふくらはぎが大きくなってはいたが、とびぬけていた訳ではなかった。
- ・「心」人の先に立って、率先して何かをやらうとする目立つタイプではない。
- シャイで静かな優しい子で、練習中の順番も一番前に並ぶような子ではなかった。かといって内気・内向的ということでもない。メンタル面が強かった訳でもないが、勝敗にはこだわりを持っていた。



2 それぞれのステップについて

私の階段

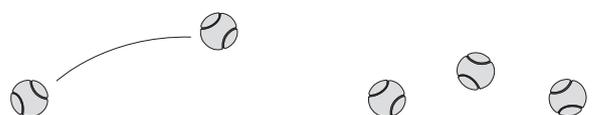
- ・マテリアル(ラケット・ボール)の進化→それに伴う技術の変化
- ・職場環境の変化→600人規模、24人規模、流し、Jr100人協会でのポジション
- JTAのコーチ派遣でフロリダホップマンキャンプに参加し、世界のトップレベルの選手の練習を見てきた。
- ヴィーナス・ウィリアムス…6球打ちドリル(フォア・バック・アプローチ・フォアポレー・バックポレー・スマッシュ(逆バージョンもあり))を1時間ずつと行っていた集中力は凄い。
- ジェニファー・カプリアティ…コート縦に2面(ベースラインからベースラインまで)使ってスピンサービスの練習をしていた。

圭の階段

- ・姉、チームメイト、地域のライバル
- 小学生で一番上のトーナメントクラスに入って練習をしていた
- ・県、地域、全国大会、ナショナルチーム
- 田舎のテニス人口は大人の割合が多く、一緒に練習を行うことも多く、スライスやロブなど色々なショットを打たれるので、自然に色々なボールや技が出来るようになった。また、修造チャレンジにも選ばれたが、テニス人口が少ないが故に勝ち上がりやすかった部分もある。

周囲の階段

- ・県協会⇔地域協会⇔ナショナルチーム
- ・修造チャレンジ
- ・盛田ファン
- 圭がブレイクするちょうど1~2年前にできた。運が良かった。



3 テニスのゲーム(勝負・遊び)を楽しむための法則

選手自身に考えさせるようにアプローチしている。

- | | | |
|---------|--|--|
| 1) 『3R』 | ・Right Time
・Right Place
・Right Shot | 「正しい時に
正しい場所へ(で)
正しいショット」
を打つ |
|---------|--|--|

セオリー通りに打つこと。相手の逆をつく。冒険するショットを打つことは良いが、冒険する手順を踏ませる。「今のボールで逆をつくのであれば、その1本前のボールをここに打ってみよう…」という様に説明する。

- ①イーブンの戦闘力で、相手の戦闘力が落ちれば、自分の方が上位になる。
→相手の苦手な所を攻める
- ②自分の「楽しさ」と相手の「楽しさ」、自分の「面倒臭さ」と相手の「面倒臭さ」。自分は「楽し」で、相手は「面倒」がベスト。
- ③同じ繰り返しのパターンに相手は慣れ、忘れる。いきなりの転機に相手は驚き、それが印象に残る。残した印象は、効率よく利用できる。

自分が何をどうしたいのかその子供がやりたいプレースタイルをさせる。ただ、プレーの中で苦手なものを無くす。

2) 『Yes』or『No』「自由に打てる時、打てない時」

①『Yes』の条件

- *相手の打球
 - ・自分が2つ以上の選択肢からショットを選択する余裕がある。
- *ポジション・打点
 - ・ストローク(ドライブボレーを含む)ではベースラインの内側よりも前。
 - ・ボレーでは、サービスラインとネットの後寄り1/3より前。
 - ・スマッシュでは、サービスラインよりも前。
 - ・狙うコース、球種に丁度良い打点を表現。
- *体勢(バランス)
 - ・打球の前後で、身体のバランスがキープできる打法や狙いを表現。
 - ・重心は止まるか、打球方向に移動する。(横・或いは後方は不可)
- *ショットの選択
 - ・相手に「No」と言わせるショットを打つこと。
- *『Yes』の連続性
 - ・次のショットも「Yes」になるように立ち回らなければ、チャレンジする意味がない。
 - 「Yes」でミスをしても攻撃しているので良いが、「Yes」で打てるボールなら、「Yes」にしなければいけない。

②『No』の条件

- *前述の「Yes」の条件が満たせない
- *ショットの選択
 - ・相手に「No」と言わせるショットを打つこと
- *『No』の連続性
 - ・相手が「No」になれば、成功。
 - ・次のショットが「Yes」になるように立ち回れば、大成功。
 - ・相手が「Yes」⇔自分が「No」を3回繰り返すと負ける。

- 中上級以上では、戦略的に、「Yes」と「No」の間に、「微妙にYes」と「微妙にNo」が存在する。
- 深いボールを打たれると自分が「No」、そこから相手も「No」と思うようなボールを打つ
- ・『Time Management』時間の管理「自分の時間を確保し(稼ぎ)、相手の時間を奪う」
- 練習の時から「Yes」と「No」を言わせ、キーワードを繰り返す行方。

4 心・技・体について

- 1) 『心』：重用視する気質
- 2) 『技』：応用力
- 3) 『体』：mobility

1) 『心』

*心的な事柄

- ・目標設定
- ・行動マップ
- ・失敗からの回復
- ・取捨選択

○夢と目標

- ・達成の為の強い思い
- ・「遥かなる大きな夢」と「目先の小さな目標」
- ・何のためにテニスをするか?の確認
- 『100歳になったら、コート妖怪と呼ばれたい』(by Kashiwai)
- 目標を1年に1回書き初めをさせる。忘れかけている頃に再度読ませる。目標を叶えられなかった人にはプレイヤーズノートに目標を達成する為に何が書かせ、1か月に1回提出させる。ノートに何回も同じことが書いてあると注意する。注意した後は注意された事柄に関して、集中力が上がる。文字や数字にすることは効果がある。

○失敗からの回復

- ・「ミスは必ずある」 繰り返さない為に何をすべきか!?
- タイミングを見計らって話をする。壁にぶつかっている子供と一緒に克服していく

○コーチングの取捨選択

- ・ホームコート(コーチ)から、外部コーチとの接触・重複や、新コーチへの移行。
- ・分かる、分からない。要る、要らない、しまっておく。～自分の意見が持てること。
- 他県に出て違うコーチに教わることもある。違うコーチからいつもと違うことを言われていたら、そのコーチが言っていることを通訳し、教える。どこかでいつものコーチと、違うコーチの言っていることが繋がっていることを教える。



2) 『技』

- *技術は戦略・戦術を表現するためにある
- *応用力のある技術
- *5～10年後に使える技術
- *日本人の技術・戦略

○技術は戦略・戦術を表現するためにある

・「戦術のための技術」と捉えると、それらはスパイラルを描いて上達する。

→戦略を先に教えると、試合の中の場面を想定しながら、技術力もアップする

○応用力のある技術

ベースライン後方からネットへ、サイドからサイドへ、コートを広くカバーし、カバーさせる流れ(つながり)を表現できる技術。

・5～10年後に使える技術を意識

○ライジング・カウンター

・「柔よく剛を制す」…日本人が勝つための方法。

・相手の最も得意とする戦術に、最も大切な瞬間にカウンターで応じて、ポイントを取り、その後それを温存して、次の機会を待つ。

3) 『体』

- *Mobility
- *Balance
- *Stamina
- *休養

○Mobility

・動き回りの能力(Quickness:敏捷性)

○Balance

・調整力の向上

・雨の日のインドアコートは皆で遊び!

○Stamina

・ハードなことは「チーム」で、「競争」で

・30分間走～メディシンボールの使用

・各種ダッシュ～チーム戦

○筋力・柔軟性のバランス

・サーキットトレーニング日報の提出

・柔軟性のチェックと課題提出

○トレーニング、ストレッチ、練習、休養

怪我をしにくい身体作りの為に必要であること

・怪我をしたら、医療機関を受診する

・怪我をしたら休む

→低年齢・高年齢のジュニアにも必要。日本人男性は全体的なバランスが28歳頃がピークであるので、焦らず、長い目で見るようにする。

5 「真似る」ことについて

*「ものまね」=子供の楽しみ

・「プロのようになりたい!」

・「あんな風にプレーしてみたい!」

・「こんな風に動いてみて!」

・「コーチみたいにやりたい!」

●殊に低年齢では、「見て真似る」方が、「聞いて(理解して)やる」より早くて簡単

→<動物の例え>

・豹が獣に襲い掛かるようなイメージでレディポジションに立たせる

・猫が猫じゃらしを捕まえるようなイメージでレディポジションに立たせる。

*「良いテニス」をしたい!

・「勝ちたい」と思うか、「いいテニスをしたい」と思うか

試合後のミーティングが重要!?

～次の目標

*「イメージ」、「言葉」の共有

・大きなイメージ

「同じ目標を目指す」「ベストを尽くす」

・小さなイメージ

「3日も獲物にありつけずペコペコに腹を空かせたヒョウがウサギに襲い掛かる寸前のように」

「ぐ～ん」「ひゅん」

・ジュニアのコーチの間には言語やイメージに差異が生じる。

・言葉のイメージが共通でないと、言いたいことは伝わらない。

→常に修正している必要がある。



JPTAコンベンション オンコートセミナー

「ジュニア指導法」

— グリーンテニススクールでの練習 —

記録：事務局 酒井

編集：広報・企画推進委員会 副委員長 金丸 由紀

- 日時● 10月5日(月)10:00~12:00
- 会場● 有明テニスの森公園テニスコート(C-11, 12)
- 講師● 柏井正樹氏
カシワイテニスサービス グリーンテニススクール



1. 圭とやった練習

練習での焦点

試合の中での場面～何時、何処に、どんなボールを打ちたいか

2. 「Yes」or「No」

『3R』、『Time Management』を踏まえて

3. 練習で工夫したこと

- ・プライベートレッスン
～戦術・戦略と、そこで必要な技術の練習
- ・グループレッスン
～競争と、1人ではできない負荷の高い練習

4. 圭がやった練習(ドリル)の紹介

「Drill」の輸入や開発の時代は終わった。
同じドリルを目的に応じて使い分ける工夫をする。
～ポイントは「何時(吸収する時)」、「何を(目的)」、「どれだけ(効率効果)」
～言葉がけ=感覚の共有

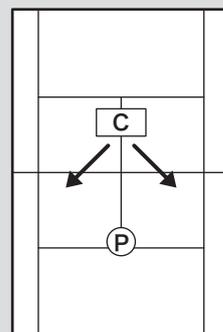
〈よく使うドリル例〉

- ・ナインボール
- ・8の字
- ・ワイパーストローク
- ・カニ(クラブドリル)
- ・エビ
- ・モグラボレー
- ・パターン・ポイント



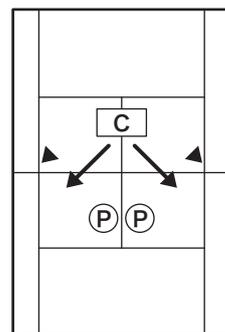
◎ カニドリル ◎

ボレー フォアバック6球(3~4名で行う)
横への素早い動きができるようにする。
コーチはプレイヤーがギリギリ届か届かないか位のところにフォア・バックに球出しをする。
☆1本1本のショットを良いか悪いか確認しながら行う
選手はレディポジションからスタート。
1本打った瞬間次の動きに入れるように、打った瞬間次のボールを見るようにする。
ネットは絶対越えるように打つ。
ネットがなかなか越えない選手には下記の*面を作る練習*を行う。



面を作る練習

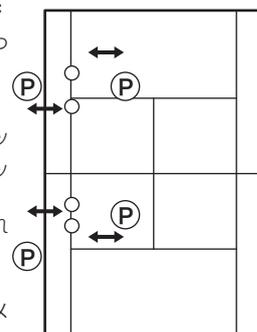
手だしで2列フォアとバック
ネット際のコーンを狙う
コーンの位置がネットから近く、面を作らないと狙えないので、ラケット面を確認しながら行う
※コーチに当てたり、ミスをしたらダッシュでうしろの壁をタッチするなどの罰ゲームを入れる。



慣れてきたら距離をどんどん長くし、カニドリルに戻る

スタートが遅れる時のトレーニング

・二人のプレイヤーは同じ距離で向かい合って立つ
・二人の間に平行に2球ボールを並べる
・GOの合図で一人は右側のボールをキャッチし戻る。もう一人は左側のボールをキャッチし戻る。どちらが早く戻れるか競争
※ボールをキャッチした時に上半身(上体)が倒れていると次の動きが遅れる



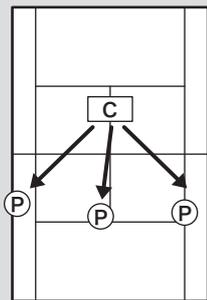
→両側の肩甲骨を内側に寄せるようなイメージで上体を立てる



◎ エビドリル ◎

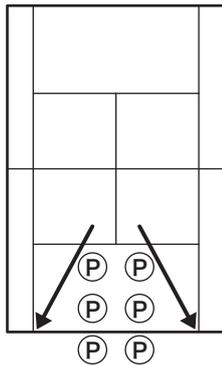
スマッシュ
ウォーミングアップ(3列3人ずつ)

・ネットタッチからスタート。
コーチはプレイヤーの下がり方を見る



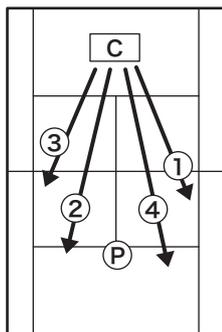
***スマッシュ後ろへ下がる
フットワーク練習***
2列サービスラインからスタート

・コーチは下がり方がおかしいプレイヤーがいたらドリルを止めてこの練習を行う。エビのように下がる
・GO(または、手をたたく)の合図で体を反転させてうしろコーナーまで下がる練習。下がれるようになってきたら、下記の練習を行う。



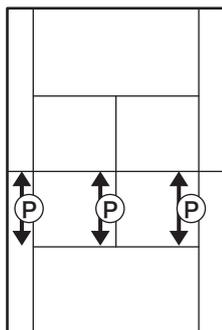
**◆ボレーとスマッシュを混ぜた
前後の動きの練習◆**
1列サービスラインからスタート

- ① フォアボレー
- ② 回り込みスマッシュ
- ③ バックボレー
- ④ スマッシュ



***ジャンピングスマッシュ
下がり方の練習***
(素振りバージョン)
3列ネット際からスタート

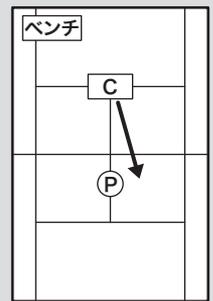
・ネットタッチから後に下がり、素振り
・ジャンプをする時、右利きは右足を、左利きは左足を胸に付く位まで上げる。
※バランスが崩れてきたら姿勢に気を付ける



◎ モグラボレー ◎ (スライスボレー)

1列ネットとサービスラインの間からスタート

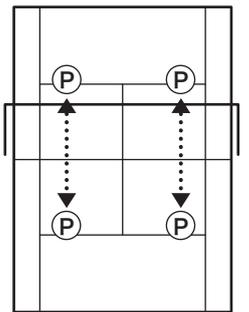
・最初はネットの近くで打てる低めのボールを出す。コントロールできるようになってきたら、ネットから離れたところで打つ。
・ベンチの下を狙う。(くぐらす)下を狙うには、下半身を下げてもぐらの様にもぐらせて打つ



プレイヤーはネットを挟んでボレーボレーをする

※打ったボールはゴム紐の下を通す

・コーチは一人一人のプレイヤーのチェックをする
☆テイクバックが大きいプレイヤーには、プレイヤーのラケットの面のうしろに立ち、コーチに当たらないように引かせる

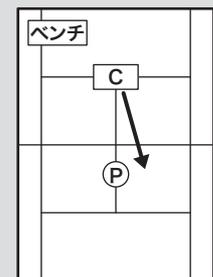


◎ ワイパードリル ◎

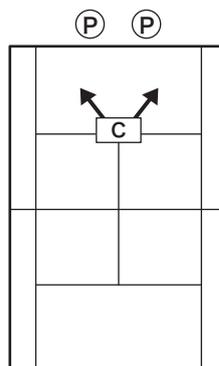
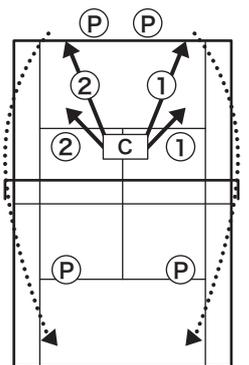
2列・コーンの後ろからスタート

・コーチは手だし
・一球一球打ち終わったらコーンまでもどる
→コートカバーと次のショットの準備を早める為
・コーチはプレイヤーのボールの入り方、打つショット、コントロールをチェックするプレイヤーに「Yes」か「No」が聞きながら行う。どのショットが良いか認識させる

<Yesの時> 前に入って足を踏み込ませて打たせる。
※前に入る時はボールの後ろから入るとステップインしやすくなる



- ① ステップイン打ち込み
- ② 深いボール
→「No」のボールはスピンドでゴム紐の上を通す
※「No」のボールを相手にとっても「No」の返球をする



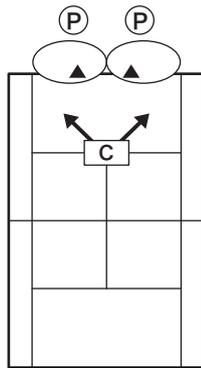
3球チャンスボールを全部同じフォームで打ち込む

◎ 8の字ドリル ◎

(3人(2グループ)で行い、ワンヒット交代)

コーチは繰り返し手だしでボールを出し、3人で20球連続入ったら終了
達成できなければ、腕立て伏せなどの罰ゲームを行う
腕立て伏せが出来ない時は…
ボールを地面に置き、顎でボールをタッチする
それでもできない場合は…
持ち上げられない部分に親指を立て、支えてあげる

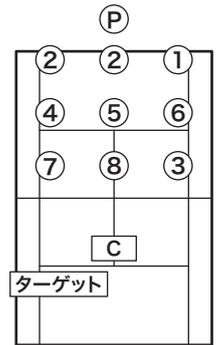
※バランス・コツを教え、正しいトレーニングを小学生低学年にもさせる



◎ 9ボール ◎

- ・9球全てフォアハンドで打つ
- ①～③は高く弾む深いボールを打つ
- ④～⑨は全てチャンスボール

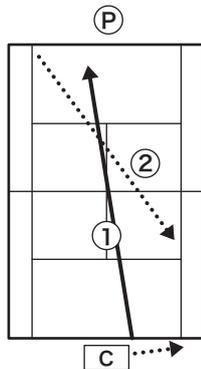
*ターゲットは音のなる大きいものが良い(ベンチなど)



◎ ポイント ◎

・コーチからプレイヤーのクロスサイドにボールを出す。プレイヤーはそのボールをショートアングルに返球する

→プレイヤーがショートアングルに返球してきたボールに近づく時に、プレイヤーにナイスショットだから相手が態勢が崩れているということを伝える為に、わざと態勢を崩しているところを見せる
(※レベルによって態勢を崩すところ、崩さないところを分ける)



・プレイヤーは相手が態勢を崩した状態で返球してきたチャンスボールを決める

- *プレイヤーは常に相手にチャンスボールを打たせる
ボールを打たなければいけない。パターンを作る
- ※コーチは時々不意打ちのボールを打たれ、ポイントを取られることも教えておく

練習中は…

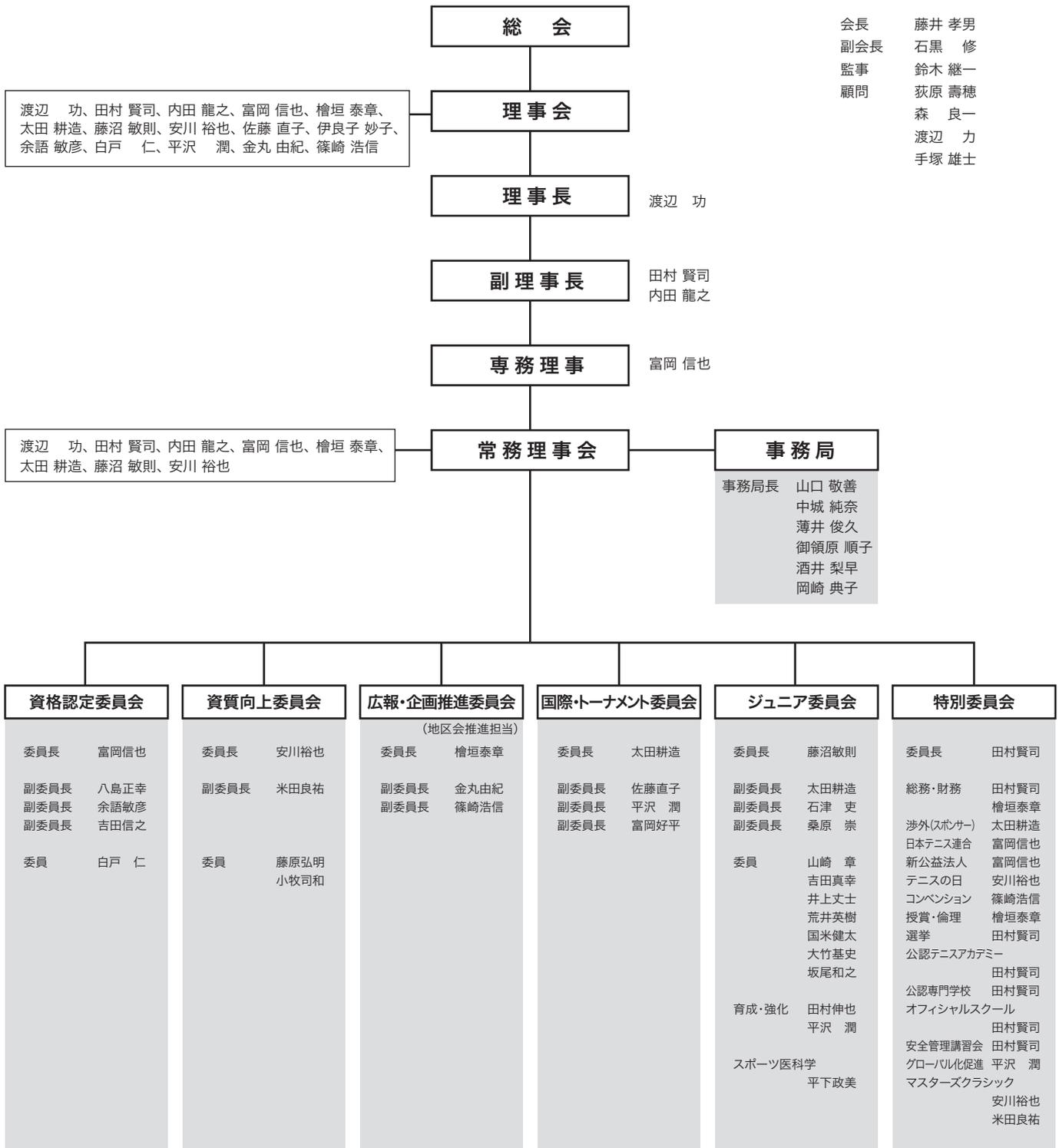
- トレーニングの必要性を教える
こういう時に必要だから行わなければいけないということを認識させる
- 練習はそのプレイヤー達の自力の少し上までやれる練習をする
- プレー中にプレイヤーがあきらめるような仕草や動きがあった場合、「あきらめた?」と聞き、プレイヤーの口から「あきらめてません」と言わせる
- プレーの中での判断は子供自身にさせる
- 常にコートの中を見る目を養う(他の人が打っている時にボールが足元にあったらよける…等)



平成21・22年度

JPTA役員・組織のご紹介

■ 平成21・22年度役員・組織図



各委員会委員長挨拶

資格認定委員会 委員長 富岡信也



主たる活動は、プロコーチ認定、養成の為にプロテスト(年間10回)と新規講習会、UP講習会(年8回)を実施します。新規取り組みは、「テニス教本」の新規製作と「新カテゴリー」ライセンスの発行のための準備をスタートさせます。

上記活動を行うのが、「テスター」の皆様と、3名(八島正幸、余語敏彦、吉田信之)の副委員長と白戸仁委員、そして私(富岡信也)で推進しています。

活動方針は、「現場で役立ち、テニス愛好者、プレーヤーに評価され続けられるようなプロコーチ資格認定のために努力する」です。

国際・トーナメント委員会 委員長 太田耕造



JPTAとして国際トーナメントは昨年度男子3大会、女子1大会計4大会の主催をしましたが、経済事情の急変により今年は男子2大会(東京、大阪)をキャンセル、1大会(札幌)を後援大会とし、女子\$25000能登大会のみの開催になりました。

残った能登大会を1年でも永く開催出来るようにしていきたいと思っております。

これまで大会開催にあたって会員の皆様には多大なご協力、ご意見を頂いた事を将来の過程にしていきたいと思っております。

資質向上委員会 委員長 安川裕也



現在、業界を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっております。そんな時代にたくさんの方々にテニス文化を広めて行くためには、プロコーチの資質向上が欠かせません。

Q:資質向上の目的は?

①倫理の徹底

プロコーチは社会倫理に照らして行動し、公益を害することのないようにしなければなりません。

②技術の進歩への関与

プロコーチは、絶え間なく進歩する技術・指導法に常に関心を持ち、新しい技術の習得、応用を通じ、テニス界の発展・安全・普及に貢献できるよう、その能力の維持向上に努めなければなりません。

③社会環境変化への対応

プロコーチは、社会の環境変化、動向、並びにそれらによる要望の変化に目を配り、柔軟に対応できるようにしなければなりません。今後も講習・研修会、練習会等の開催を積極的に行っていきます。皆様のご意見、ご参加をお待ちしています。

ジュニア委員会 委員長 藤沼敏則



1. ジュニア委員会の役員

ジュニア委員長	藤沼 敏則
ジュニア副委員長	太田 耕造
	石津 吏
	桑原 崇
ヘッドコーチ	田村 伸也

2. ジュニア委員会の運営事業

- ① ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン(予選大会・全国大会)
- ② NGT小学生トーナメント・中学生トーナメント(予選大会・全国大会)
- ③ 育成・強化プログラム
- ④ 海外遠征

①と②については、予選会を北海道から沖縄そして海外にて開催し、各予選会で選抜された子供達を対象に全国大会を行っています。その全国大会で最優秀選手または優秀選手に選ばれた小学生および、トーナメントで優勝した小学生男女と中学生男女の計4名は、③の育成・強化プログラムへの参加を認められ、年間4~10回(育成・強化合宿は全員対象のプログラムから、地域大会参加のジュニア対象・全国大会参加のジュニア対象、エリア別育成・強化と参加できる対象が分かれているため回数が異なります)開催される育成・強化合宿に参加し、世界に向けたトレーニングを受ける事になります。

またNGT全国大会で最優秀選手に選ばれたジュニアおよび、NGT小学生・中学生トーナメントで優勝したジュニアを④の事業である海外遠征へ招待し、世界へ向けたファーストステップを踏み出します。

世界に通用する選手を「MADE IN JAPAN」で育てる事を最大の目標として、2年前から田村伸也プロをヘッドコーチに迎え活動しています。現在では日本プロテニス協会の会員が指導している優秀なジュニアに対しても、育成・強化合宿に参加できるように門戸を広げています。

広報・企画推進委員会 委員長 檜垣泰章



この度、広報・企画推進委員会を担当することになりました。この委員会は、協会の情報を提供することが主な事業です。また、今年度の事業として地区会制度の見直しを当委員会で検討することとなりました。

事業の担当者に、JPTANEWS、物販、地区会を金丸副委員長、HP、スマッシュ、会員カードを篠崎副委員長にお願いしました。とりわけJPTANEWSは、身近な情報として協会設立以来発刊しているもので、さらに充実させる為に地区会と連動して各地区の紹介を掲載することになりました。

ホームページは、情報収集のツールとして欠かせないものとなっております。このHPは、皆様にご案内した通り刷新し、会員ページを設け、独自の情報を提供することとなりました。広く多くの情報を皆様にお伝えする為に活動していきますので宜しくお願いいたします。

各委員会委員長挨拶

特別委員会 委員長 田村賢司



特別委員会は、「資格認定委員会」「資質向上委員会」「広報・企画推進委員会」「国際トーナメント委員会」「ジュニア委員会」の5つの委員会に属さない事項にあたる広範囲な業務を担当する委員会です。

業務が広範囲となるため、委員会の下に部会を設置し、その部会にはそれぞれ担当責任者を配置して業務を行っています。

1. **総務・財務部会** (部会長: 田村副理事長、副部会長: 檜垣常務理事)
総務・財務については、主に事務局が中心となって業務を行っています。事務局の日々の業務についての相談、協力、指示等々の業務を行っています。
2. **渉外(スポンサー)部会** (部会長 太田常務理事)
厳しい経済事情でJPTAにおいても国際トーナメントの中止、ジュニア全国大会協賛企業数社が撤退と影響が出ております。その中で新規スポンサーの確保をしていかなければなりません。
新しく部会を発足させ「JPTAの活動」を見直しスポンサー確保活動をしていきたいと思っております。
会員の皆様でご協力いただける方は、事務局までご連絡下さい。
3. **日本テニス連合部会** (部会長 富岡専務理事)
JTA、JITA、JLTF、JPTAの4団体代表が集まり「スーパージョイント」と称する非公式の会合を本年4月より一歩前進させて、公式な任意団体「日本テニス連合」を発足させました。結成目的は、「日本のテニス界として4団体に横断的に存在する問題で、日本のテニス界をより協力的に推進していくためには、統一して行うべき制度、問題点等を公式に取り上げて審議し、その解決案を策定する機関」です。
会議は年6回、会場はJPTA事務局、参加メンバーは、JPTA(盛田会長・渡辺専務理事)、JITA(雑賀会長・中嶋副会長)、JLTF(飯田会長・武正理事長)、とJPTAは渡辺理事長と専務理事・富岡が参加しています。
4. **新公益法人部会** (部会長 富岡専務理事、副部会長 常務理事会メンバー7名)
新公益法人制度に基づき移行準備(H25年11月30日までに申請)の検討を行っている部会で、今後のJPTAのあり方を決める重要な役目を担います。
JPTAにとっては、公益性の高い事業活動と経済システムを取り入れた収益事業活動を共有することで、他団体からの拘束から解放と、更なるテニス界の発展に寄与する機会として新制度を有効に活用することが期待できます。
構成委員は、常務理事会メンバー7名と事務局長です。
5. **テニスの日部会** (部会長 安川常務理事)
(社)日本プロテニス協会、(財)日本テニス協会、(社)日本テニス事業協会、日本女子テニス連盟は、多くの団体やプロテニスプレーヤー、又ボランティアの方々の協力を得て、9月23日を「テニスの日」と定め、テニスの普及、発展を推進するための諸事業を実施しています。
「テニスの日」を制定することでテニスの楽しさ、おもしろさを多くの人達に広めて、健康で明るく生き甲斐のある社会造りに寄与したいと願っています。
詳しくはHPをご覧ください。 <http://www.tennis.or.jp/tennisday/>
6. **コンベンション部会** (部会長 篠崎理事)
コンベンションの企画、立案など、コンベンションに関する業務を行っています。
7. **授賞・倫理部会** (部会長 檜垣常務理事)
協会の目的の達成、又事業推進に顕著な功績があった場合にこれを表彰してその尽力に報いること。
また、公序良俗に反した会員に対する罰則についての業務を行っています。

8. **選挙部会** (部会長 田村副理事長)
協会の明日を担う理事候補者を選任する重要な業務です。
現在、(社)日本プロテニス協会役員候補者選任規定に基づいて行っていますが、今後選挙制度そのものも改革していく必要があれば、提案して行きたいと考えていますので、ぜひ積極的にいろいろなご意見を聞かせていただければと考えています。
9. **公認テニスアカデミー部会** (部会長 田村副理事長)
2009年4月より、世界で活躍する選手の育成をめざしテニスを通して、心・技・体を身につける事を目的とするテニススクールを展開していくために、本協会の会員が指導に携わり、一定の条件を満たしている場合に「JPTA公認テニスアカデミー」の名称使用を認めるというものです。
10. **公認専門学校部会** (部会長 田村副理事長)
テニスの専門的指導と各種事業の企画・運営にあたる指導者の育成を目指し、正しい指導法を身につけることを目的とする専門学校を展開して行くために、一定の条件を満たした専門学校に「社団法人 日本プロテニス協会公認専門学校」という名称使用を認めるといいます。
認定校の生徒は卒業年度に本協会のプロテストを受験し、合格するとJPTA認定のコーチ資格が与えられます。
現在、福岡外語専門学校が認定されています。
11. **オフィシャルテニススクール部会** (部会長 田村副理事長)
生涯スポーツ競技力向上を目的としたテニスの普及、育成、発展、定着に寄与し、本協会の権威と質の向上を目的とするテニススクールを展開するために、一定の条件を満たしたスクールに「社団法人日本プロテニス協会 オフィシャルテニススクール」を認定し、承認しています。
現在、全国で48校のテニススクールが認定されています。
12. **安全管理講習会部会** (部会長 田村副理事長)
協会は、平成2年に「テニススクール共済制度」を発足しました。
これは、本協会会員の経営、所属するテニススクールの相互扶助により、賠償事故の場合の被害者への補償と、テニススクールの精神的、経済的負担を軽減するために、そして何よりもテニススクールの安全管理に対する認識と向上を願って発足したものです。「テニススクールの安全性」事故の際の「応急処置」「事故処理策」などの「テニススクールの安全管理」を啓発していきます。
13. **グローバル化促進部会** (部会長 平沢理事)
インターネットなどによる情報のスピード化、テニスに関わる情報や活動の国際化に対応する協会を目指す為に、下記の様な活動で国際化を図ります。
1. 提携を行っているUSPTAとのタイムリーな情報交換を行う。
2. イギリス、オーストラリアなどテニス発展国の協会との連携を模索する。
3. JPTA会員に対する国際的な情報の提供。
4. 各国のテニスに関わる協会の取り組みや、事業の調査・研究 等々。
14. **マスターズクラシック部会** (部会長 安川常務理事)
今年の12月12日、国内テニス界で活躍された名プレーヤーを一同に集めた「Masters Classic」を開催することになりました。この事業は、日本テニス界を盛り上げてくださった選手の力をお借りして、国内テニスの活性を目指す事を念頭に置き、「テニスはプレーするだけでなく、観戦しても楽しい」ということをもっと多くの愛好者に伝え、若い世代の選手達が「将来活躍してこの場に出てみたい」という目標の場として役立てることを目指しています。

新地区会制度について

平成12年度より発足した地区会制度は、今年度のJPTAの事業計画で見直しを諮ることとなり、その方策を広報・企画推進委員会にて検討することになりました。その見直し案が9月の理事会において決議され、10月より新たな地区会制度として発足しました。主な決議事項は、次の通りとなりましたので、ここにご報告いたします。

1.新地区区分

全国を9ブロック12地区に分ける。
 東京地区をひとつにまとめ、山梨・栃木・群馬・茨城を含める。
 関西地区をひとつにまとめる。

2.幹事

以前の委員の呼称を改め、幹事と称する。
 地区長と幹事は状況に応じ活動する。

広報・企画推進委員会
 委員長 檜垣泰章



別掲の通り、地区長および幹事の選出が理事会にて承認され、各地区で今後の地区会のあり方や現状報告、意見要望を取りまとめ、12月12日にJPTA事務局にて地区長会議を開催することとなります。

現在の経済情勢が大幅な悪化から持ち直しに向かっているとはいえ、テニス事業をとりまく環境も非常に厳しい状況であります。このような状況で、新地区長と幹事には多忙の中、地区の活性化のために職責をお願いした次第です。以前の地区長、委員も含め、この場を借りて御礼申し上げます。地区会制度は、会員の皆様の声を聞く身近な組織としても重要な役割を担います。会員の皆様と協力して協会の発展を願うものです。

■JPTA地区会 地区ブロック区分け

(平成21年10月より)

現ブロック		9ブロック 17地区	新ブロック		9ブロック 12地区	
ブロック	地区		ブロック	地区	地区長	
北海道			北海道		佐藤 雅規	
東北			東北		門脇 章	
北信越			北信越		安間 保行	
関東	東京	東部 中部 西部	関東	東京 (山梨 栃木) (群馬 茨城)	大森 敬雄	
	山梨	栃木		神奈川	高澤 克巳	
	群馬	茨城			千葉	冨塚 拓彦
	神奈川				埼玉	天野 高弘
	千葉				東海	
	埼玉				関西	林 浩司
東海			中国	梶下 欣昭		
関西	大阪	兵庫		四国		
	京都	滋賀	九州			
	奈良	和歌山				
中国						
四国						
九州						

地区幹事	
北海道	藤原 弘明、盛永 英明、細田 基次 笹島 誠悟、山崎 遊馬
東北	本間 久義、高内 博之
北信越	谷口 親夫
東京	渋川 博美、牛山 豊彦
神奈川	大貫 弘二、玉井 哲也、河村 祥臣
千葉	澤村 知秀、桑原 崇、稲葉 徹
埼玉	検討中
東海	戸谷 晋也、屋代 浩之
関西	村上 義幸、小倉 英司、奥山 克巳 大竹 基史、小牧 司和
中国	大下 貴
四国	青木 宏道、亀代 大輔
九州	豊留 俊一、井上 丈士、津崎 哲也 緒方 東、源河 朝哉、稲田 悦朗

東京は、3地区に分かれていたが積極的な活動がなかったため1地区とし、山梨、栃木、群馬、茨城を東京地区に統合。



関西地区は一地区とした。

地区長挨拶

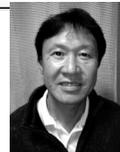
北海道地区 佐藤 雅規



こんにちは、北海道地区、地区長の佐藤です。
 生粋の道産子で、一応国立大を卒業したのですが、テニスが大好きで周囲の反対を押し切りテニスコーチの世界に飛び込んでから30年になります。
 JPTAには、1987年に入会しました。
 現在は札幌市内2会場でテニススクールを運営しております(有)アドバンテージの代表として、また地域協会の役員1人としてテニスの普及・強化に携わっております。
 微力ではありますが、地区の活性化の為に努力したいと思っております。

- 今までのJPTA活動で一番印象深かったこと**
 1998年にヤマハリゾートつま恋で行われたJPTA創立25周年記念のコンベンションを、当時私は新米理事だったのですが、チェアマンを仰せつかり、現サッカー代表監督の岡田武史氏等をお招きし、盛大に行えたことです。
- 座右の銘**
 人生楽ありや苦もあるさ
- 地区自慢**
 JPTAの会員同士、事業所同士のコミュニケーションが最も良い地区の1つであると自負しています。
 それは、北海道テニス協会、女子連などの地域団体との関係でも言えることで、地元で行われる様々なイベントを協力し合って行っています。
- こんなJPTAにしたい!**
 会員の持っている人脈・知識・知恵を集め、テニスを通じて地域貢献を続けて行く団体にしたいと思います。

東北地区 門脇 章



来年度も東北地区地区長を担当させて頂くことになりました生まれも育ちも宮城県出身の門脇章と言います。どうぞ宜しくお願い致します。私の家族は、妻と小学校(長男6年生と次男3年生)に通う4人家族です。職場での移動により、4月1日から仙台市泉総合運動場に勤務となり自宅から三つ位山越えをして通勤しています。泉総合運動場にはテニスコートが18面あり、何かイベントが出来ればと考えております。

- 今までのJPTA活動で一番印象深かったこと**
 ここ数年JPTA活動に参加しておりませんが、過去に担当していた
 ○ニュージェネレーションジュニアスカウトキャラバン
 ○小学生・中学生テニス大会
- 座右の銘**
 私は、体が弱いので早寝・早起きを心がけております。
- 地区自慢**
 仙台市は、プロスポーツが盛んであり、
 ○プロ野球では 楽天イーグルス
 ○プロサッカーでは ベガルタ仙台
 ○プロバスケットボールでは 仙台89ERS が活躍しています。
- こんなJPTAにしたい!**
 ん〜 むずかしい…

北信越地区 安間 保行

福井県生まれで、高校時代からテニス部に入学し、日大テニス部出身です。卒業後は、七年間サラリーマン生活、その後三十歳でテニスクラブ及びスクールの経営を始め、現在に至っています。また、福井県と福井市のテニス協会の理事長・県の事務局長の職も就いております。ロータリークラブにも在籍し、幹事・会長も経験しました。



- 1. 今までのJPTA活動で一番印象深かったこと
コンベンションでの各メーカーからの商品提供で、大変盛り上がった事、また地区対抗戦が印象深かった。
- 2. 座右の銘
ともあれ ひとつ ひとつ
- 3. 地区自慢
地籍名所が多い事、テニス環境が良い事
- 4. こんなJPTAにしてみたい!
皆が、結束し一体感を感じられるJPTA

東京地区 大森 敬雄

今年でJPTAに入会して26年目を迎えます。テニスコーチを職業にして30年が経過しようとしています。この30年でテニスの楽しさを皆様に伝えられたかと考えています。協会員になって26年…この間に理事も経験し、ニュージェネレーションスカウトキャラバンで各地を回り、テニスの面白さ、楽しさを些少ですが伝えられたと思います。現在私は、西東京の田無でインドアテニススクールを運営しています。テニススクールという事業は、地域密着型と思っています。この度地区長となって、もっとも地域住民の皆様へ、テニスの面白さ、楽しさを伝えられるよう、会員の方々や協力し、気持ちを新たに頑張りますので、よろしくお願ひ致します。



- 1. 今までのJPTA活動で一番印象深かったこと
ニュージェネレーションスカウトキャラバンで各地を回り、様々な年代の子供達とテニスをして、その熱心さに刺激され、もっともっと努力しなければと思った事。
- 2. 座右の銘
継続は力なり。
- 3. 地区自慢
西東京の田無は、東京都下にあつて緑がまだ沢山あり、住民の方々の人情味にあふれている事。西東京でまだスクールを運営して3年。もっとも田無を知らなければと思っています。
- 4. こんなJPTAにしてみたい!
気軽に会員の方々、更には地域住民の皆様意見を反映する様な、風通しの良いJPTAになればと思います。

神奈川地区 高澤 克巳

この度、神奈川地区の地区長を命ぜられました横浜テニスカレッジの高澤と申します。神奈川地区は225名に及ぶ会員の方々がいらっしゃる大所帯で、若手からベテランの方々まで多種多様な人材の方が在籍されています。地区会として何をすべきかを、理事会、事務局、幹事の方々と話し合い、会員の皆様にとりまして有効で有意義な事が実現出来るように微力ながらお手伝いさせて頂きたいと思ひます。宜しくお願い致します。



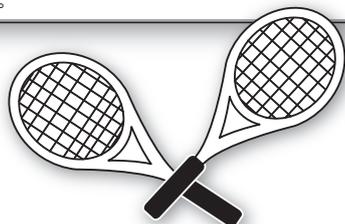
- 1. 今までのJPTA活動で一番印象深かったこと
セイコースーパーテニスの運営スタッフ (アンパイア)
- 2. 座右の銘
継続は力なり
- 3. 地区自慢
大都会から自然たっぷりのリゾートまであらゆるテニスシーンを満喫出来ます。
- 4. こんなJPTAにしてみたい!
テニスコーチの横の繋がり、縦の繋がりのパイプを作りたい。

千葉地区 冨塚 拓彦

スポーツビジネスに興味を持ち、大学卒業後、某大手チェーンスポーツクラブへ入社。フィットネス・カルチャーセクションに配属され、フィットネスクラブマネージャー就任。テニスの思いを断ち切れず退職し、コーチ生活スタート。紆余曲折を経て、タムラクリエイト株式会社入社。直営テニススクール「Ken's」の立ち上げに携わり、現在に至る。同社テニス事業部部長。ひとりでも多くの方に「テニスを通じて豊かな人生」をお送りいただけるよう奮闘中。



- 1. 今までのJPTA活動で一番印象深かったこと
活動ではありませんが、何とんでも研修合宿とプロテストです。テニス・コーチング理論、プロ意識などすべてが衝撃的でした。プロとは何かを叩き込まれました。
- 2. 座右の銘
努力に勝る天才無し
- 3. 地区自慢
ジュニアから一般プレーヤーまで非常にテニスが盛んなエリアです。プロ選手も多数輩出しており、JPTA会員数も多く在籍しています。
- 4. こんなJPTAにしてみたい!
プロがプロとして、プロたる仕事出来るよう、テニス技術・コーチング理論のみならず、ビジネス・マネジメントスキルまで広範に学び、情報交換・共有が出来るといいと考えております。
- 5. その他
会員同士の情報交換や勉強の場を増やしていきたいと思ひます。まずは地区のネットワークを発信源として第一歩を踏み出せるよう動いていきたいと思ひます。



東海地区 柴田 優子

この度、東海地区地区長に就任させて頂くはこびとなりました。柴田優子と申します。現在は、名古屋大学を拠点に、いろいろな大学でテニスの指導を行う他、高齢者を対象に運動指導を行っています。今後も、自分の置かれている環境を活かし、自分の立場からプロテニス協会に貢献できるよう、日々精進し頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



- 1. 今までのJPTA活動で一番印象深かったこと
いろいろございますが、今後「これは」と誰もが思える活動を、まずは各地区から盛り上げられるよう頑張っていきたいと思ひます。
- 2. 座右の銘
日々、学ぶ。優しく。厳しく。和やかに。
- 3. 地区自慢
テニス愛好者が多い。
- 4. こんなJPTAにしてみたい!
全国各地のプロ会員のコミュニケーションをより密に。プロ会員同士が一丸となって、各地様々なイベント等に、自ら積極的に企画参加しプロテニス協会自体を盛り上げていく。

関西地区 林 浩司

この度、関西地区地区長を務めさせて頂くことになりました。林浩司です。現在、フリーで兵庫・大阪・奈良を拠点に活動しております。プロ協会に入会して、早20年になりましたが、これからも微力ではありますが、協会発展の為に、少しでもお役に立てれば良いと考えております。どうぞよろしくお願ひ致します。



- 1. 今までのJPTA活動で一番印象深かったこと
JPTA大阪国際オープン開催。
- 2. 座右の銘
負けてたまるか!
- 3. 地区自慢
とにかくエネルギーに満ちあふれていること
- 4. こんなJPTAにしてみたい!
「これぞ、プロフェッショナル!」とテニス界の全員をうならせるようなJPTA

中国地区 梶下 欣昭

中国地区を担当させて頂くことになりました梶下欣昭です。早いもので、協会にお世話になってもう20年近くなつと思ひます。私のクラブは広島市内で活動しているTension Tennis Clubで、主にスクール&ショップを事業として取り組んでいます。近年はジュニアにも力を入れ選手育成をしているところです。全国の皆さんには是非とも協力していただき、中国地区でテニスの国際大会やグレードの高い大会を将来できればと望んでいます。協会の発展に役立てようこれからも努めていきたいと思ひますので今後ともよろしくお願ひ致します。



- 1. 今までのJPTA活動で一番印象深かったこと
スカウトキャラバン・フューチャーズ・Jr.海外遠征に参加させていただいたりしましたが、全て印象深く残っています。特にスカウトキャラバンでは、会員の方々の協力イベントがスムーズに進行します。運営の手際や内容の良さに感心した事を覚えてます。
- 2. 座右の銘
栄光に近道なし
- 3. 地区自慢
中国地区は今年初めての小学生・中学生トーナメントを開催しました。参加者は少数でしたが、来年以降も続けていきたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。自慢は中国5県どこでイベントを行っても食べ物が美味しです。是非ともお越し下さい。
- 4. こんなJPTAにしてみたい!
会員の懇親会や交流会などを行い地域の活性化を図っていききたいです。ジュニア育成もスカウトキャラバン同様、地域に定着させたいと思ひます。

四国地区 井澤 義治

こんにちは。四国の地区長を仰せつかっております井澤義治と申します。高校・大学の学生時代はラグビー部所属。硬式テニスを始めたのは、大学卒業前の1979年です。研修合宿受講は1983年、プロテニス協会入会が1995年。徳島県テニス協会事務局長として1993年東四国国体や、ディレクターとして全国ねりんピック徳島大会2003や数回の四国選手権大会を務めさせて戴きました。現在、3箇所インドア施設を経営し、現場コーチを務めながら、地方におけるテニス振興の為、普及・強化に日夜、頑張っています。



- 1. 今までのJPTA活動で一番印象深かったこと
個人的には、初めて受けるプロテストやベストオブナレッジ賞2回の授賞です。地区としては、2004年に徐々に開催できた四国地区セミナーに意義を感じています。
- 2. 座右の銘
You can get it, if you really want. (叩けよ さらば開かれん)
- 3. 地区自慢
風光明媚な青い国・四国。
- 4. こんなJPTAにしてみたい!
●純国産のティーピング・コーチングで、育成した選手を世界で活躍させるJPTA。
●研鑽された商品・サービス力のマネジメントで、テニスビジネスの成功を世界に誇るJPTA。
- 5. その他
よろしくお願ひ致します。

九州地区 石津 吏

福岡県春日市にある春日西テニスクラブで、明るく、仲良く、元気に生徒さんやスタッフと楽しみながらスクール運営をしています。厳しい目で選手育成もやっているのですが、最近年のせいかわらなくなったのか、温かい目で成長を見守っているように思えます。以前活発だった地区会、楽しかった地区会を復活し、会員が多く集まり楽しい会になる様に努力していきたいと思ひます。



- 1. 今までのJPTA活動で一番印象深かったこと
地区でのセミナーや試合を行い、親睦会をしたこと。
- 2. 座右の銘
天知る、地知る、我知る
- 3. 地区自慢
情に厚い、おいしい焼酎がある
- 4. こんなJPTAにしてみたい!
もっと会員である誇りを持てるようにしたい。

ITF Women's Circuit

JPTA能登国際

女子オープンテニス2009

開催報告



能登国際女子オープンテニス2009
実行委員長 佐藤直子



JPTA能登国際女子オープンテニス2009は、無事終了しました。

今年は能登国際に足を運んでくださる人の数の目標を4000人とし、昨年の能登国際女子オープンテニス2008終了後から、能登町、そして石川県の皆さまと力を合わせて頑張ってきました。

なにしろ、金沢市内から車で2時間半、つまり往復5時間かかるところに、どうやって観戦に訪れていただくかが一番の難問です。

勿論、観戦に訪れていただく人は金沢市からではなくても、近くの輪島、穴水、七尾などから見に来ていただければよいのです。

まずはトーナメントが能登町で行われることを、人々に知っていただくことが重要なので、北國新聞社様、テレビ金沢様とタッグを組み、トーナメント告知にご協力いただきました。

9月開催の能登国際女子オープン2009ですが、北國新聞社様から「何かのイベントでもないと記事ににくい」というご指摘をいただき、事前イベントを5つ金沢で行う計画を立てました。7月4日に中能登で「ソフトテニス&硬式テニス合流レッスン会」、7月5日に富樫スポーツ教育プラザで「三世代触れ合いテニス交流・体験」、7月18日に金沢で「わくわくテニス塾」、8月10日にジュニアスカウトキャラバン・ニュージェネレーションキャンプ、8月22日に「ファミリーエンジョイテニス」。以上5つのイベントを行い、参加者に

能登国際の観戦を呼び掛けると同時に、北國新聞社様・テレビ金沢様に事前告知、当日取材を行っていただきながら能登国際の宣伝をしました。NHK金沢様も告知・取材に協力して下さったイベントもありました。

その他、7月中旬から能登国際のテレビスポット宣伝を、能登町の方々が驚くほど何回もテレビ金沢で流してくださいました。

ということで、かなり知名度が上がった、能登国際女子オープンテニス2009が太田ディレクター(JPTA国際トーナメント委員長)の下でスタートしました。



事前イベント、8月22日には辰口丘陵公園テニスコートにて【ファミリーエンジョイテニス】を行いました。



優勝 カロリナ・プリスコバ(チェコ)
準優勝 久松 志保



優勝 スー・ウェンシン(台北) 準優勝 ハン・シンユン(中国)
ファン・イースアン(台北) キム・ソージュン(韓国)

天候も良く、なかなかスムーズなトーナメントだったと思います。トーナメント中、「やってみんかいね」という板に描かれたクマさんのお腹に穴が空いていて、そこにボールが入ればお菓子が貰えるゲーム、「渡辺理事長、田村伸也プロ、不肖佐藤直子によるレッスン会」、「篠原ソフトテニス選手によるソフトテニスレッスン会」などのイベントもずっと試合と並行して行い、会場はとても盛り上がった雰囲気でした。

ただ、この試合と並行したイベントに関しては、賛否両論ありました。「試合中にうるさい」、「試合を見てほしい」などの意見もありましたが、観戦のみではなく、観戦&参加型の珍しいトーナメントとして、私はこの形式は良かったと思っています。

一番の危機は土曜日のダブルス決勝の日でした。一日中雨が降ったりやんだり。室内に移すかどうかを太田ディレクターと迷いながらも、早い時期に決断し室内に移しました。

結局コートコンディションは一日中悪かったので、「よい決断でしたね」とレフリーの小林さんに言っていただきました。

室内のせいで、ダブルス決勝はより迫力ある音とスピードで、観に来た人々は目を見張っていました。

最終日、シングルの決勝は、それは、それはすごい試合でした。『良い試合』がトーナメントに何よりも花を添えてくれることがよくわかりました。シングルの決勝は日本の久松志保選手対183センチの長身でシャラポワを連想させるチェコのカロリナ・プリスコバ選手の対決となりました。久松選手がセカンドで数本マッチポイントを持ちながら落とし、ファイナルセットはタイブレークにもつれ込みました。そしてまた久松選手がマッチポイントを握り、日本人みんなが祈る中、またプリスコバ選手がミラクルショットで巻き返し…。結局11-9でプリスコバ選手が優勝しました。

試合の後、「選手と打とう!」「選手と写真!」というイベントがありましたが、久松選手がそのような試合の後に笑顔でファンと打ったり、写真に治まったりしてくれた様子は、観客やトーナメント運営側の人々の心を打ちました。私も久松選手の大人の態度に頭が下がりました。

能登国際女子オープンテニスは能登町の、そして石川県の皆さまのご協力を賜り、2009もとても温かく爽やかなトーナメントでした。



田村プロ・佐藤プロのレッスンに地元の小・中学生も大喜び!



イベントレッスンで出場選手・コーチにも打って頂きました!



ウェルカムパーティでは皆でスキヤキソングを歌いました♪

資質向上セミナー報告



開催日時：21年8月25日(火) 15:00～18:00

会 場：JPTA事務局会議室

講 師：田村 賢司 氏

資質向上委員会
記録：事務局 酒井



テーマ テニス業界で生き残る為には 何を身に付けておくべきか

2009.8.25(火)、日本プロテニス協会 事務局会議室にて資質向上委員会セミナーを開催いたしました。

今回の講師には、タムラクリエイト株式会社の代表取締役であり日本プロテニス協会副理事長でもある田村賢司氏をお迎えし「テニス業界で生き残る為には何を身に付けておくべきか」というテーマで、ご自身の経験を基にお話して頂きました。

今回は座談会形式で、一方的に講義をするものではなく、参加者の方の意見や思いを語って頂き、各年代別の意見やおかれた環境や立場が違うコーチの意見を聞くことができ、参加者にとってとても参考になったのではないかと思います。

内容は①自分を振り返って②この先に考えておくべきこと③テニスコーチの未来像という3つで構成され進められました。

田村講師は現在、タムラクリエイト株式会社の代表取締役という立場で組織をまとめられていますが、タムラクリエイトのビジョンをはじめ、そのビジョンを達成する為にどうすることが必要か、どうすることを注意して仕事をしているか等の経験を踏まえ、丁寧にお話を頂きました。

「お客様の為に自分は何ができるか、どうすればクルー(スタッフ)を幸せにできるか」ということを常に考え「会社は人間が幸せになる為に考え出された組織であり、売上や利益、給料の高さをまず追い求めるのではなく、お客様の役にたきたい、幸せのお手伝いをしたいと思いながら仕事をする事によって、お客様が私たちを評価し、判断し、結果的にお客様や社会から喜ばれるほど、売上や利益、給料も感謝さえされながらますます増えるようになり、自分に返ってくる。」という言葉がとても印象的でした。

自分が今までどういうことを学んできたか、今後どういうことを学びたいか、という議題では、20代、30代、40代それぞれの意見があり、20代では現在言葉使いや一般常識を勉強中である。30代ではコーチをやり始めた時は接客についての勉強を沢山したが、現在は会社では上司も部下もいる中間のポジションにいてどうしたらうまくいくかというバランスに気をつけて見ている。40代では経営・マネジメントについてはその場にならないと勉強をしても実践できないが、若いコーチには、自己技術・指導技術・接客技術・社会性を早い段階で学んでほしい。などの意見がありました。20代コーチの意見にもあった『言葉使い』について議論があり、これについては田村講師からはマニュアルから学ぶことはとても大切だが、基本にあるのは愛情をもってお客様には自分の気持ちと自分の言葉で伝えることが一番大切でしょう、と答えて頂きました。

他にはテニス業界の夢…、プロコーチとは…テニス業界について…等々、熱い討論が繰り広げられました。アンケートにも、「今回は他の人の意見を沢山聞くことができ、参考になりました。」「プロコーチの原点を見た。」「各年代のコーチの生の声が聞けて良かった。」等々の感想を頂きました。

(資質向上委員会より～)

昔に比べ、各自が意見を言える場が少なくなってきている現状の中、この様な場を設けられ各々の話が出来たことは素晴らしいことでした。今後もこういう場を継続し作っていきつもりです。自分を客観的に見つめ直したり、新たな情報入手できるととても良い機会だと思います。是非皆様のご参加をお待ちしております。

2009 JPTA ニュージェネレーションテニス

第3回 ジュニア育成プログラム 実施報告

ジュニア委員会 ヘッドコーチ
田村 伸也

実施日：2009年10月30日(金)～11月1日(日)
場 所：韮テニスセンター(大阪)
参加者：強化メンバー18名(男10名・女8名)
育成メンバー18名(男10名・女8名)
講 師：太田 耕造、田村 伸也、藤沼 敏則
大竹 基史、荒井 英樹、御領原 順子



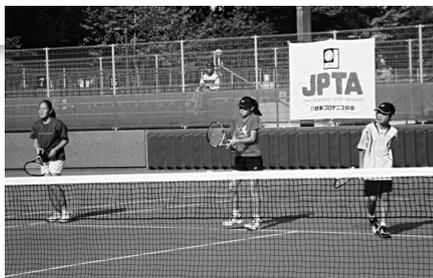
今回のテーマ

- シングルの戦い方
- 切れのいいセカンドサーブを身につける
- 自分独特の戦い方を見つけるいろいろなボールをいろいろなコースに打ち、得意なショットを知り、反復練習して磨き、身に付け、自分のパターンを考える
- 1、サブアンドボレーヤー
- 2、カウンターパンチャー
- 3、攻撃的ベースライナー
- 4、オールラウンドプレーヤー
- タッチショットの練習



【1日目】

- 13:00 ウォーミングアップ
ストレッチ・アジリティダッシュ
- 13:15 ミニテニス・ピンポンラリー
ボレーボレー：タッチショットボレーボレー・ロングボレー・左右ボレーボレー
- 14:00 球出しドリル：10球・10セット・2面進行
ワイバー
チャンスボールの打ち込み・ライジングの打ち込み
アタックゾーンに落ちたボール：センターからの回りこみストレート・逆クロス
ボレーカット：フォア・バック
ランニングショット・カウンターアタック・中ロブ・スライス
- 16:30 サーブとレシーブ練習
敵に攻撃されないセカンドサーブを目指す
出来れば回転の打分けが出来るようになる
フラット・スピンスライス
セカンドサーブを打ち込んだり、ドロップショット・ショートクロスを狙ったりして攻める
- 17:00 終了



【2日目】

- 9:00 ウォームアップ・ストレッチ
50mダッシュ6本
- 9:15 ミニテニス・ピンポンラリー
ボレーボレー：タッチショットボレーボレー・ロングボレー・左右ボレーボレー
- 9:30 球出しドリル：10球・10セット・2面進行
ワイバー
チャンスボールの打ち込み(ライジングも含む)
- 10:00 攻守練習
・チャンスボールの打ち込み対カウンターアタック練習：ストレート
短いボールをクロスにドロップショットを打つかショートクロスに打ちストレートにエースをとる練習
- 11:00 ラリー練習：育成(強化は昼休み)
- 13:00 ラリー練習：強化(育成は昼休み)
：ストレートクロスの打ち合い：ミスの無いように、打ちすぎない。
ミス無しラリーからメリハリをつける
クロス・クロス：ストレートラリー：メリハリをつける
パン・パン・パン・パン・パン・パン
：2:1のラリー練習：チャンス逃さない
自分が攻撃できると思ったときに仕掛ける
- 14:00 サーブ・レシーブ練習
セカンドサーブを打ち込んだり、ドロップショット・ショートクロスを狙ったりして攻める
第二サーブを打ち込む第二サーブはチャンスボールだ
守りのレシーブ・攻撃のレシーブ
- 15:00 ポイント練習
- 16:30 球出し練習
ワイバー チャンスボールの打ち込み

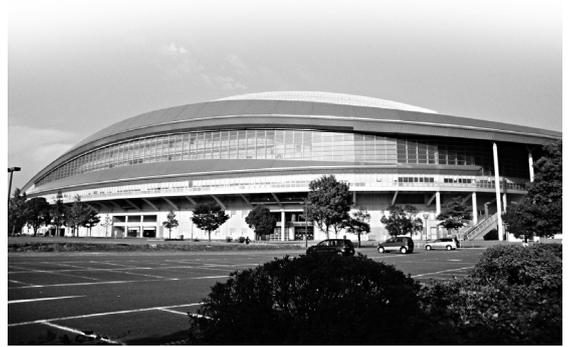
【3日目】

- 9:00 ウォーミングアップ・ストレッチ・ラインタッチダッシュ
- 9:15 ミニテニス・ボレーボレー各種
- 9:30 球出しスマッシュ練習
- 10:00 サーブ・レシーブ練習
- 10:30 2:2のポイント練習
両チームベースラインから
両チームネットから
- 12:00 終了

感想

今回は自分の得意なショットは何なのか知ること、それを生かした自分のテニスを見つけること、そしてやり続けることを言いました。今のテニスがそのまま大人になっても続くことが多いからです。ロブばかり打っている子は大人になってもいざとなるとロブを打ってしまい、ジュニアのころはそれで勝てたりしてしまうのですが、大人になったら通用しません。今が大事なのです。打ち方もそれほど変わりません。よほど自分が意識をして、コーチもなんと変えようとして言い続けなければ変わらないことが多いのです。今いいテニスをしていかなければなりません。この合宿での練習は、合宿練習と思ってはいけません。ホームに帰ってからこそこの練習をしなくてはなりません。レベルの高い試合では構えて打つようなことは少なくなってきます。走ってバランスを保ちながらしっかりと打ち返す技術が必要です。振り回されてもしっかり打ち返せないと勝てないのです。飛びついてボレーでエースをとらないと勝てないのです。この合宿は4回で10日～12日ぐらいのものです。後の350日は地元で練習をしているのです。地元のコーチがみんなの打ち方を100倍見ているわけです。帰ってから勝負です。会うたびに上達していることを期待しています。

ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン
全 国 大 会



会 場:北九州メディアドーム

ニュージェネレーションテニス・
ジュニアスカウトキャラバン
平成22年2月27日(土)~28日(日)

小学生トーナメント
平成22年2月26日(金)~27日(土)

中学生トーナメント
平成22年2月26日(金)~27日(土)



第12回 ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン
地区大会結果

【東海地区大会】

日時:9月13日(日)

会 場:名古屋MIDスポーツセンター
参加人数:男子16名 女子12名 合計28名

【高学年:選抜】

橋 一慶 (小4) 木曾川ローンTC

【高学年:推薦】

服部 準也 (小5) 茨木TC
吉原 琴菜 (小6) ウィルテニスアカデミー
渡辺 安美 (小6) ミズノTC
小島 未央奈 (小6) 木曾川ローンTC

【低学年:選抜】

永田 杏里 (小3) 茨木TC

【低学年:推薦】

鈴木 我志 (小3) TIA尾西
光崎 楓奈 (小2) TIA尾西

【東海地区大会】

日時:9月22日(火・祝)

会 場:岡崎げんき館
参加人数:男子 17名 女子 6名 合計 23名

【高学年:選抜】

酒井 来征 (小5) ウインググローバル蒲郡(WTA)

【高学年:推薦】

数 巧光 (小6) h2エリートテニスアカデミー
松本 安莉 (小6) Wishテニスクラブ
三浦 明仁 (小6) Wishテニスクラブ
成岡 ゆい (小6) Wishテニスクラブ

【低学年:選抜】

倉橋 奈摘 (小3) 名古屋グリーンテニスクラブ

【低学年:推薦】

青木 乙葉 (小2) ロングウッド
下平 真穂 (小2)
安藤 誠笙 (小2) CROSSROAD



岡崎げんき館

【九州地区大会】

日時:9月22日(火・祝)

会 場:北九州ウエストサイドテニスクラブ
参加人数:男子21名 女子19名 合計40名

【高学年:選抜】

藤浪 功 (小6) 北九州ウエストサイドTC
鶴園 賢太 (小6) 筑紫野ローンTC

【高学年:推薦】

野口 莉央 (小5) グリーンヒルズITS
衛藤 佳奈 (小5) グランディールテニスクラブ
川島 元貴 (小6) 筑紫野ローンTC
相馬 光志 (小4) グローバルアリーナ
友枝 健 (小6) 油山TC
上野 梓 (小6) 北九州ウエストサイドTC

【低学年:選抜】

前田 拓夢 (小3) 若松サンシャインスポーツクラブ

【低学年:推薦】

末田 悠 (小2) プリチストンク留米
山本 優果 (小3) 春日西テニスクラブ
小坂 祐生 (小2) 芦屋グリーンランドTC

【関東地区大会】

日時:9月22日(火・祝)

会 場:青葉台ローンテニスクラブ
参加人数:男子15名 女子11名 合計26名

【高学年:選抜】

倉持 美穂 (小5) 霧が丘テニススクール

【高学年:推薦】

森川 奈穂 (小5) 霧が丘テニススクール
渡辺 颯己 (小6) 青葉台ローンTC
飯端 すみれ (小5) 青葉台ローンTC

【低学年:選抜】

前川 名月実 (小3) 亀の甲山TC, ESSC

【低学年:推薦】

岡部 創太 (小3) シンズあざみ野テニスチーム
上木 翔太 (小3) 成城テニスアカデミー
毛塚 智瑛 (小3) 武蔵野ドームテニススクール



第12回 ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン 地区大会結果

【北信越地区大会】

日時:10月12日(月・祝)

会場:グリーンインドアテニススクール
参加人数:男子15名 女子8名 合計23名

【高学年:選抜】

堀江 亨 (小4) 関スポーツ塾
勝島 陽希 (小6) グリーンインドアTS

【高学年:推薦】

望月 陸 (小6) グリーンインドアTS
丸山 日菜子 (小5) team HERO
小田 爽佳 (小6) T&S新発田TS

【低学年:選抜】

該当者なし

【低学年:推薦】

上田 夏帆 (小3) グリーンインドアTS
日野 雄斗 (小3) グリーンインドアTS
松下 龍馬 (小2) Fテニス



グリーンインドア
テニススクール

【近畿地区大会】

日時:10月18日(日)

会場:ITC神戸インドアテニススクール
参加人数:男子25名 女子18名 合計43名

【高学年:選抜】

山下 晶平 (小6) 人丸TC
末野 聡子 (小4) 人丸TC
河合 麻央 (小5) 人丸TC

【高学年:推薦】

南 勇輝 (小4) シーズラケットクラブ
木嶋 真鈴 (小4) 人丸TC
北村 美紗季 (小6) TCセブンスリー
石原 千穂 (小5) g-d-o

【低学年:選抜】

吉田 朋夏 (小2) ロイヤルヒル'81TC

【低学年:推薦】

高川 海亜 (小2) ITC神戸インドアテニススクール
中村 菜乃 (小3) シーズラケットクラブ
政本 菜々美 (小2) 人丸TC
米 天弘 (小1) ITC神戸インドアテニススクール



エストテニスクラブ

【中国地区大会】

日時:10月25日(日)

会場:みよし運動公園
参加人数:男子9名 女子7名 合計16名

【高学年:選抜】

梶下 美空 (小4) Tension

【高学年:推薦】

中塚 桃子 (小5) KTT
久保 柚季 (小5) Tension

【低学年:選抜】

該当者なし

【低学年:推薦】

友永 梨音 (小1) アキラITC
蔵田 太洋 (小1) アキラITC
大川 裕貴 (小3) Tension

【関東地区大会】

日時:10月12日(月・祝)

会場:エストテニスクラブ
参加人数:男子16名 女子12名 合計28名

【高学年:選抜】

中村 礼 (小6) team HERO

【高学年:推薦】

中谷 彩 (小5) エストテニスクラブ
神田 留尉 (小6) ロイヤルSC TA

【低学年:選抜】

保坂 駿太 (小3) エストテニスクラブ

【低学年:推薦】

清水 瑤 (小3)
長澤 佑香 (小2) エストテニスクラブ

【北海道地区大会】

日時:10月31日(土)

会場:宮の森スポーツ倶楽部
参加人数:男子23名 女子15名 合計38名

【高学年:選抜】

加藤 翼 (小5) 宮の森スポーツ倶楽部
白鳥 大地 (小5) キャロット

【高学年:推薦】

谷口 紗絢 (小5) スウィング
根本 智輝 (小4) 宮の森スポーツ倶楽部
藤代 元春 (小5) 宮の森スポーツ倶楽部
小林 果蓮 (小5) 宮の森スポーツ倶楽部
古部 達也 (小5) ACT

【低学年:選抜】

岡村 泰良 (小3) 宮の森スポーツ倶楽部

【低学年:推薦】

黒崎 早絢 (小1) 宮の森スポーツ倶楽部
伊東 峻吾 (小3) 宮の森スポーツ倶楽部
松原 綾乃 (小2) スウィング
高氏 大斗 (小1) 宮の森スポーツ倶楽部

JPTA 小・中学生トーナメント 地区大会結果

▼ 第6回 JPTA中学生トーナメント大会結果

【東海地区大会】 日程:9月6日(日)

会場:ピスタヴェルデ春日井

【男子優 勝】 西川 徹哉 (中3) 鈴鹿庭球塾
【男子準優勝】 中山 隼 (中2) Wishテニスクラブ
【女子優 勝】 大矢 希 (中1) h2エリートTA
【女子準優勝】 伊藤 未歩 (中1) IWAMOTO

【中国地区大会】 日程:10月24日(土)

会場:みよし運動公園

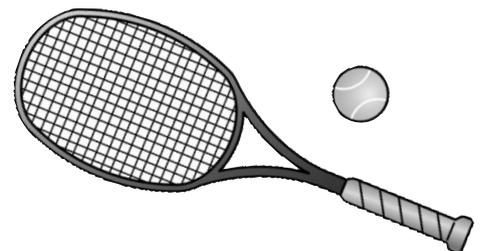
【男子優 勝】 井上 健太 (中3) やすいそ庭球部
【男子準優勝】 池内 優斗 (中1) Tension
【女子優 勝】 池田 月 (中1) Tension
【女子準優勝】 梶川 真利亜 (中3) アキラITC

▼ 第6回 JPTA小学生トーナメント地区大会結果

【中国地区大会】 日程:10月24日(土)

会場:みよし運動公園

【男子優 勝】 福田 創楽 (小6) テニスガーデン高槻
【男子準優勝】 高村 烈司 (小6) ハロースポーツテニススクエア
【女子優 勝】 永嶋 遥 (小6) チームT.K
【女子準優勝】 永嶋 彩乃 (小4) チームT.K



地区便り [九州地区]



九州地区
地区長 石津 吏



九州ではここ数年地区会としての活動をしていませんでした。昨年、福岡在住の顧問萩原プロと数名の会員で今後の地区会について語り合いました。萩原顧問の「みんなをもっと元気に・活発に・会員のためになんとかせねば!」の熱い思いを胸に抱き、病魔と闘っておられる顧問の回復を待ちながら今年8月に地区会を8名の会員で協会の再稼働前でしたが開きました。小野元常務理事のいろんな説明や萩原顧問の話に、少しでも今後何かできないか!地区会活動復活について話し合いました。

その後は懇親会です。九州地区は、会員数は少ないのですが広範囲です。飛行機を使って南は沖縄からも参加しなつかしい顔やフレッシュな顔に、九州といえば、おいしい焼酎がいっぱいあり会話に花を添えてくれました。久しぶりですが会えば会話が進み、みんな九州の今後に、赤い顔をしながら盛り上がり、楽しいひと時でした。

また、22年2月26～28日に福岡県北九州市で小学生・中学生トーナメントの全国大会と、ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン全国大会が開催されます。ジュニア委員会はもちろんのこと地元も成功する様に準備をしています。笑顔とおいしい食べ物、おいしい焼酎で皆様のお越しを心よりお待ちしております。

資格認定委員会

プロテスト(UPテスト)資格昇級者

日 時：10月11日(日)、12日(月)
会 場：ロングウッド長久手(愛知)
受験者数：20名(新規含む)

会員番号	氏 名	資格	勤務先
3213	西浦 純平	P2	TEGインドアテニススクール
3409	江川 潤	P3	TOPインドアステージ多摩
3473	西川 智章	P3	コーニング・ジャパン(株)
3478	岩井 良太	P3	森林ロングウッドテニスクラブ
3479	白河 英憲	P2	森林ロングウッドテニスクラブ
3536	江口 夏樹	P2	コムズテニスラウンジ

新入会会員挨拶

※ 入会手続完了の新規会員様

氏 名	資 格	勤 務 先
長澤 守	プロフェッショナル3	横浜テニスカレッジ
よりよい物を追求し、頑張ります。		
後藤 真哉	プロフェッショナル2	横浜カレッジ ザ・センター
今回受けた講習会や試験は、大変勉強になる事がたくさんありました。この経験を生かして、今後もテニスの普及に頑張りたいです。		
山下 剛	インストラクター	テニスラウンジ明和
日本プロテニス協会に入会出来たことを誇りに思い、今後も指導力・接客力に磨きをかけ、日々精進致します。宜しくお願い致します。		
小泉 哲	プロフェッショナル3	(株)アオノリゾート
日々変化する時流を読み、新しい商品の開発・創造をしていきたいと思ひます!		
松田 亘平	インストラクター	M's企画
今回テストを受けるにあたり、色々な方々に本当にお世話になり、ありがとうございました。まだまだ未熟な自分ですが、テニスに関わる者として、人間として確実に成長していきたいと思ひます。		
小松 大輔	プロフェッショナル3	ジョイナス北野田テニススクール
まさか自分が!? という気持ちですが、日本プロテニス協会の一員として、しっかり自覚を持ち、精進していきたいです。今回テストを受けるにあたって、社長の森プロ、柏谷プロをはじめ先輩コーチ、フロントの皆様には本当にお世話になりました。これからは協会の方々にも迷惑をおかけすると思ひますが、ご指導の程よろしく願ひします。私は、サーブとフォアハンドストロークが得意です。自分の経験が様々な年代、特にジュニアの役に立てればと思っております。		
西村 修司	プロフェッショナル3	シラサギテニスクラブ
これまでの経験を生かし、ジュニア育成を中心として今後も精進し、プロとしての自覚を持ち、日々勉強し、新しいものをどんどん取り入れ、幅広く多くの人にテニスを楽しんで頂けるように頑張ります。		
西村 忠久	プロフェッショナル3	シラサギテニスクラブ
ジュニア時代からの経験を生かし、小さなお子様からシニアの皆様方にわかりやすく指導し、上達して頂けるようにと、これからも努力し頑張っていきたいと思ひます。シラサギテニスクラブ所属 清風高校卒 大阪体育大学卒 テニス歴26年 コーチ歴13年		
小山 紀三男	プロフェッショナル2	とつかテニスクラブ
私がJPTAの一員となり、今考えている事は、日本のプロテニスコーチの地位を確立し、日本のテニス界の発展のため努力していきたいという事と、今まで以上に皆様にハッピーテニスライフを提案していきたいという事です。		
池畑 亮治	プロフェッショナル3	MTPグループ 甲子園テニススクール
プロテニス協会の会員として恥じる事のないよう精進し、生涯スポーツとしてテニスの楽しさを伝えていけるように、またプロとしての職業地位を高めていけるようお手伝いが出来ればと思ひます。よろしく願ひ致します。		
澄川 貴也	インストラクター	(株)テニスラウンジ 小牧校
自分自身のスキルとレッスン技術の向上、信頼されるテニスコーチになる為に、日々精進していきたいと思ひますので、よろしく願ひします。		
大脇 佑介	インストラクター	テニスラウンジ 港校
この度は、JPTA認定の為の講習会・テストに参加させていただきありがとうございました。今回「JPTA認定インストラクター」という結果でしたが、また自分の為、会社・生徒さんの為に昇級し、テニスで自分に接して下さった方々への恩返しが出来たらと考えています。その為に、常に「謙虚に物事に取り組む心」を忘れず努めていきます。		

JPTA公認 ブリヂストンスポーツJPTAオフィシャルテニスボール 12月分発注について

2010年1月10日前後発送予定

いつもブリヂストンスポーツオフィシャルテニスボールをご注文頂きまして、有難うございます。平成21年12月分の発注日の締切日が早まりますのでご注意ください。

※毎年12月は、先方の工場稼働日の都合上、締切日が早まりますのでご了承ください。

通常締め切り

毎月25日 PM12:00迄
(25日が土日祝の場合は、翌営業日)

平成21年12月締め切り

12月22日(火)PM12:00迄

ホームページ 会員専用ページ内 MIXI(ミクシィ) JPTA会員専用 コミュニティサイト 登録・申請について

MIXIは身近な友達は勿論、普段は会えない友達や知り合いともコミュニケーションをとることができます。日記を書いたり、共通の趣味や好きな話題のコミュニティに参加して仲間を増やす事も、意見交換もすることが出来ます。

(今回設けましたJPTA会員専用コミュニティは、JPTA会員同士のコミュニケーションツールとなりますのでJPTA会員のみの参加となります)

会員専用サイト JPTA Mebers Onlyより入り、 登録作業をしてください。(図参照)

MIXIに既に会員登録している方

- ① そのまま「入り口」から入る
- ② ログイン
- ③ 検索からJPTA と入力して検索
- ④ JPTA会員専用コミュニティ(会社・団体)が検索結果として表示
- ⑤ 「このコミュニティに参加」ボタンを押す
- ⑥ コメント欄に会員番号と氏名、コミュニティに参加希望と明記し、参加申請を送信
- ⑦ 協会事務局よりコミュニティの参加承認が返送

MIXIに会員登録をされていない方

- ① 協会事務局代表メールに(kyokai@jpta.or.jp)へMIXIのコミュニティ参加希望と会員番号と氏名を明記の上、送信。
- ② 協会より、MIXI会員登録の招待状が届く...その後はMIXI画面の説明に従い、登録をしてください。
- ③ 登録後は、上記「MIXIに既に会員登録している方」の①〜同じ工程にてお進み下さい。

リニューアルしたホームページ内に設けました、MIXIにご登録をご希望の方は、下記の手順にてご申請下さい。
(こちらの登録、活用は任意です)



すでにmixiの会員の方はそのままお入りください。
また会員でない方はこちらまでご連絡ください。
kyokai@jpta.or.jp



JPTAホームページ 会員専用サイトログインについて

各々のパソコン環境によっても違いがありますが、強いセキュリティを設定していますと、反応して会員専用サイトにログインできない場合があります。

出来ない時は → **Ctrl** キーを押しながら画面のログインを押す(パスワードは入力)をお試し下さい。

公認企業であります、ダイワ精工株式会社様が、2009年10月1日より社名を変更いたしました。
新社名 グローブライド株式会社

事務局
 だより

おめでた

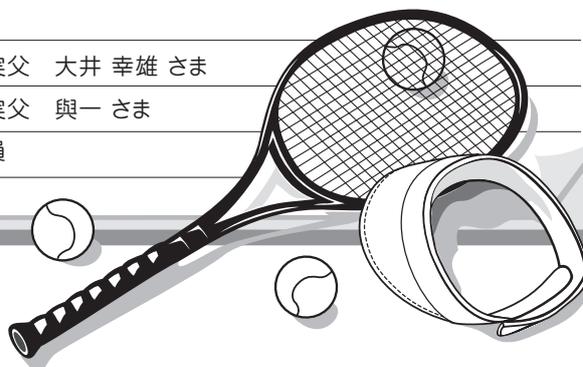
★ ご結婚 平成21年7月 5日 幾世 昌臣 会員 と 遠藤 美幸 さん
 平成21年9月 21日 野本 英彦 会員 と 津久井 裕子 さん



★ ご出産 平成21年 7月11日 松林 瞳美 会員(フリー)
 次女 蒼(あおい)ちゃん
 平成21年 8月31日 岩佐 健司 会員(狛江インドアテニススクール)
 長女 歩実(あゆみ)ちゃん
 平成21年 9月12日 天野 康治 会員(スポーツクラブ アクトス浜松)
 長男 武劉(たける)ちゃん
 平成21年 9月17日 豊田 磨智子 会員(フリー)
 長男 健人(けんと)ちゃん
 平成21年10月 5日 音喜多 秀顕 会員(駒ヶ根テニスカレッジ)
 長男 秀康(ひでやす)ちゃん

おくやみ

平成21年 7月 7日 入澤 栄 会員 実父 大井 幸雄 さま
 平成21年10月16日 介川 晃 会員 実父 與一 さま
 介川 三枝子 会員



■会員情報 勤務先変更のお知らせ

氏名	勤務先名	〒	勤務先住所	TEL	FAX
青山 裕司	ITC八尾インドアテニススクール	581-0077	大阪府八尾市西久宝寺211	072-925-2003	072-925-2032

■会員情報 住所変更のお知らせ

氏名	〒	自宅住所	TEL	FAX
幾世 昌臣	478-0037	愛知県知多市新舞子東町1丁目7-6	0569-89-7790	
徳永 勲司	563-0024	大阪府池田市鉢塚1-10-12	072-754-6700	072-754-6700
北野 篤	152-0033	東京都目黒区大岡山1-25-11		

J P T A 会 員 諸 変 更 届

自宅・勤務先等の情報変更がある場合はこちらの用紙をご利用ください。

※

送信日：平成 21 年 月 日

※印は特に漏れのない様、必ずご記入ください。

事務局記入欄

入力日付	印

事務局記入欄

確認日付	印

※◆ 変更情報をJPTA NEWSに掲載しますか？
(どちらかを○で囲んでください)

掲載します / 掲載しません

※

会員番号

※

氏 名

◆自宅住所変更◆

自宅住所変更日：200 / /
(記入例) ⇒ 2009 / 06 / 05

自宅TEL)

自宅FAX)

自宅〒)

-

自宅住所 1)

マンション・ビル名等

自宅住所 2)

◆勤務先住所変更◆

勤務先変更日：200 / /

勤務先名称)

勤務先〒)

-

勤務先住所 1)

マンション・ビル名等

勤務先住所 2)

勤務先TEL)

勤務先FAX)

◆氏名変更◆

氏名変更日：200 / /

旧 姓)

新 姓)

フリガナ)

注意(1) 住所変更用紙は、FAX又は郵送にて変更を受付致します。 **FAX:03-5791-1966**

注意(2) 住所変更のJPTANEWS掲載に関しては、必ず上記項目にて○印をお願い致します。

《 JPTAニュースでは紙面広告を募集しています 》

< 発行日 >
 1月、3月、5月、7月、9月、11月の各20日前後
 < 掲載面 >
 広報・企画推進委員会にお任せください。
 < 申込み >
 随時受付
 < 問合せ >
 事務局まで

掲載料	1/6ページにつき	1ページ
公認企業	7,350円(税込)	31,500円(税込)
賛助企業	12,600円(〃)	52,500円(〃)
一 般	15,750円(〃)	63,000円(〃)
会 員	12,600円(〃)	52,500円(〃)

*人材募集コーナー：1件につき、5,250円(税込) 1/6ページ程度

JPTA 公認企業・公認商品

会員は大いに利用し、生徒さん等関係者に薦めてください。

ラケット	プリンスラケット	グローブライド(株)
シューズ	プリンスシューズ	グローブライド(株)
ドリンク	ヴァーム	明治乳業(株)
ウェア	YONEX	ヨネックス(株)
ボール	JPTAオフィシャルテニスボール	ブリヂストンスポーツ(株)
ストリングス	(株)ゴーセン

JPTA 推薦企業

日本ナレッジ(株)
 丸菱産業(株)

スポーツサーフェス(株)
 (株)ジャパンビバレッジ

JPTA 賛助企業

JPTAは下記の企業の賛助を受けています。

あいおい損害保険(株)	(株)ナイキジャパン	(株)つま恋
(株)ゴールドウイン	(株)ビー・シー・シー	(有)リックスコミュニケーションズ
(株)ダンロップスポーツ	(有)マルス	日本プロテニスエンタープライズ(株)
東京ウエルネス(株)	ミズノ(株)	有限責任中間法人カーディオテニスジャパン